



ニュースリリース  
News Release

2016年9月20日  
株式会社コーポレートディレクション  
M&Aアドバイザリーチーム

## コーポレートディレクション(CDI)

### ゼンリンによる米国Abalta Technologies, Inc.の株式取得(子会社化)をアドバイス

コーポレートディレクション(CDI)は、2016年9月12日に株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下「ゼンリン」という)が発表したゼンリンによる車載ソフトウェアの開発・販売を行う米国Abalta Technologies, Inc.(本社:カリフォルニア州トーランス市、Founder & CEO: Michael O'Shea、以下「Abalta」という)の株式75%取得にあたり、ゼンリンのフィナンシャル・アドバイザーを務めました。

Abaltaは、2003年の設立以来、車載向けを中心に地図を使用した位置情報やコネクテッドカーに関する各種ソフトウェアを開発してきたテクノロジーベンチャーです。スマートフォン上のアプリケーションを車載機器に表示したり、スマートフォン上のアプリケーションを車載機器から操作を可能にするためのソフトウェア(WebLink)や、スマートフォンをゲートウェイとしてデータ通信を行うコネクテッドカーを実現するために必要な環境(SmartLink)を提供しています。本買収は、ゼンリンにとって、海外事業を強化するための戦略的な投資案件として位置づけられます。

CDIは、財務・税務・法務の外部専門家を加えたゼンリンプロジェクトチーム全体の統括とともに、Abaltaとの協議・交渉の司令塔・窓口の役割を担いました。また、クロージング直後には、Abaltaの新経営体制構築に向けて戦略的な論点の整理、両社間の議論のファシリテーション等コンサルティングファームの経験を活かした支援を行い、Abaltaの統合プロセス推進に貢献しています。

CDIは、今後も日本企業の海外事業強化支援を中核サービスの1つとし、海外のパートナー候補企業の探索、海外企業との事業提携、資本提携、合弁会社設立、買収の検討の局面において、経営戦略コンサルティングファームとしての実績を基に財務面に加え経営戦略面での助言や海外企業との協議・交渉支援、統合支援サービスを提供して参ります。

ゼンリンのプレスリリースは、こちらをご参照ください。

<http://www.zenrin.co.jp/news/160912.html>

#### 【本件に関する照会先】

株式会社コーポレートディレクション(CDI)  
パートナー 田窪 伸郎 [takubo@cdi-japan.co.jp](mailto:takubo@cdi-japan.co.jp)

CDIは、1986年に設立された日本(東京)をベースとする独立系経営戦略コンサルティングファームです。  
"Real Change" Agentとして経営戦略の「策定」のみならず「実行/定着」に積極的に取り組むとともに、近年はアジアを中心とした海外市場を包括的にカバーし、日本企業・アジア企業の次世代戦略の策定や、クロスボーダーM&A・PMI等の支援を積極的に行っています。

<拠点:東京、上海(中国)、ホーチミン(ベトナム)、バンコク(タイ)、シンガポール、ジャカルタ(インドネシア)>